

川内大綱引

9月21日開催!

大将

大将は全部隊の総指揮、作戦の立案など全体を総括する重要な役割です。

押大将

押大将は、「押し隊」と呼ばれる部隊に指示を出す役です。綱割りの前から相手陣営を牽制し、先陣を切って敵陣に突撃します。

一番太鼓

一番太鼓は、太鼓を叩いて引き手たちに指示する役です。大綱の最後尾まで指示が伝わるよう、配置されている「太鼓隊」を率います。

押し隊

相手の陣地に突進してぶつかり合い、敵の引き隊の体勢を崩します。この押し隊同士のぶつかり合いは、川内大綱引の見どころの一つです。

引き隊

綱を引く部隊です。太鼓隊の合図に合わせて、大綱にくくりつけた「引き綱」を一齐に引きます。

太鼓隊

一番太鼓から十番太鼓まで、一列に並んで一番から順に太鼓を打ち鳴らします。引き隊はこの太鼓の合図に合わせて綱を引くため、攻撃を指揮する重要な役割です。

ワサ係・ワサ払い

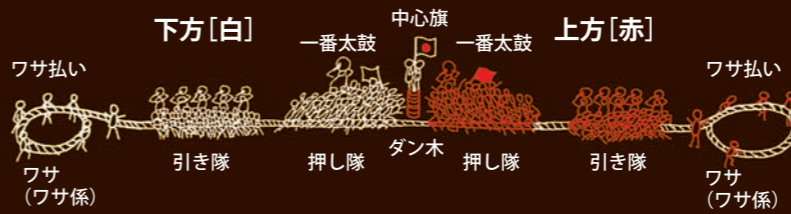
綱が相手から引かれ形勢不利となった際に、それ以上綱を引られないように綱の最後尾にある「ワサ」を中央の「ダン木」にかけます。
*危険ですので、ワサには近づかないでください。

憧れの三役

大将・押大将・一番太鼓は「三役」と呼ばれ、部隊を統括する名誉ある役とされています。

川内大綱引の態勢図

①綱割り(勝負開始)…勝負はまず太鼓合戦で始まり、引き合戦と押し合戦が繰り広げられます。押し勝った方が相手の引き隊を払いのけ、綱を引きます。



【ワサかけ】
綱を引かれた方はワサをダン木にかけるために綱を持って走り、ワサかけをします。

ここに絶対に入っては いけません。

負けている方は体勢を整え、押し隊を繰り出し、綱を引き戻します。

②終了・勝敗…一定時間経過すると綱にノコを入れ、綱を切って終了となります。勝敗は綱の中心が付いている方が勝利となります。

*日程などの詳細は、19ページを参照ください。



誰もが暮らしやすいまちづくりを目指して 認知症に対する取り組み

【問合せ先】▼本庁高齢・介護福祉課介護給付グループ(23)5111(内線2676・2677)
▼薩摩川内市地域包括支援センター(24)3331



認知症に対する本市の取り組み

本市では、認知症の方の意思を尊重し、できるだけ生活する慣れた地域で、自分らしく生活することができる社会を目指しています。そこで、国が定めた計画に基づいて、次のとおりさまざまな事業を実施しています。

▽認知症サポーター養成講座

認知症への理解を深めるための普及・啓発の取り組みとして、認知症サポーター養成講座を実施しています。認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守る応援者です。現在、サポーターは市内に延べ1万人おり、市民全員がサポーターになることを目指しています。養成講座は費用無料で、市内どこでも開催できます。

▽認知症初期集中支援チーム

認知症の方やその家族に対し、認知症の専門医、専門知識を持つ保健師や社会福祉士などがチームとなり、支援する活動を行っています。

▽認知症相談会

認知症に関する相談窓口として、医師や認知症地域支援推進員が対応する

個別相談会を各地で開催しています。
▽認知症カフェ・家族介護者交流会
認知症に関する理解や認知症の方と家族を支える地域づくりを促進し、誰もが気軽に集い、交流できる場として開催しています。認知症カフェは市内に10箇所あります。どなたでも参加できますので、気軽にお越しください。

▽認知症ケアパス

認知症と疑われる症状が発生し、認知症が進行していくそれぞれの過程において、その人の状況に応じたサービスの流れを示したものが「認知症ケアパス」です。本市では、昨年作成し、医療機関などに配布しています。

▽ミニデイサービス・認知症予防教室

高齢者の健康づくりの場として、介護予防教室を実施しています。
ミニデイサービスは、65歳以上を対象に、運動を中心とした認知症予防や口腔、栄養などの内容を含んだ教室です。市内の21箇所で開催しています。認知症予防教室は、予防に特化したもので、認知機能の維持・向上に効果があるとされているプログラムを実施しています。

*本市の取り組みに係る詳細については、問い合わせください。

認知症が気になったときの相談窓口

認知症が気になったときは、まず、かかりつけ医に相談ください。そのほか、市役所の高齢・介護福祉課、地域包括支援センターでも相談に応じます。

高齢化の進展に伴い、全国的に認知症の方が増えています。厚生労働省は、全国で認知症を患う人の数が、2025年には700万人を超えるとの推計値を発表しており、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症になる可能性があるとしています。

認知症とは?

いろいろな要因で脳の細胞が死滅したり、働きが悪くなったりしたために、さまざまな障害が起こり、生活する上で支障が生じる状態をいいます。

認知症の症状は?

直前に起こったことも思い出せなくなる「記憶障害」、筋道を立てた思考ができなくなる「判断力の低下」、時間や場所など、自分が置かれている状況を正しく理解できなくなる「見当識障害」などがあります。また、これらの症状に加えて、本人の性格や環境の変化などが加わって起こる症状(妄想・幻覚・徘徊など)もあります。

軽度認知障害(MCI)とは?

認知機能(記憶、行動など)に問題が生じているものの、日常生活には支障がない状態です。しかし、放置すると、